

- ❖ JAUNSは日本国際連合学会の英文名称、Japan Association for United Nations Studiesの略です。
- ❖ このニュースレターには学会の活動や会員の皆様へのお知らせを記載いたします。
- ❖ 学会へのご意見、ご質問などは事務局までお寄せください。

1. 第18回 (2016年度) 研究大会報告

去る2016年6月11日(土)に、第18回研究大会が上智大学において行なわれました。共通テーマは「日本の国連加盟60周年」で、午前は国連加盟60年を実務の側面から神余隆博・元国連大使および長谷川祐弘・元国連事務総長特別代表、研究の側面から渡邊昭夫・東京大学名誉教授(元・本学会理事長)に振り返っていただき、午後は「グローバル・ガバナンス 一国連と日本」と題するパネルディスカッションを実施しました。また模擬国連の学生たちによるポスター・セッションも行われました。研究大会前日の10日(金)には、開催校である上智大学との共催で、シンポジウム「開発・人道支援に関する日本と市民社会の役割 一国連人道サミットを受けて」も開催されました。

本大会は、外務省の「日本の国連加盟60周年(2016年)記念事業」に認定されました。開催校をお引き受け下さった上智大学の関係者の皆様、報告者の先生方をはじめ、ご参加・ご協力くださった方々に厚く御礼申し上げます。

(企画委員会主任 山田哲也)

2. 第6期 第4回 理事会および総会報告

研究大会前日の6月10日(金)に理事会が、研究大会当日に総会が開催され、学会規約の改正、2015年度活動報告および2015年度決算、ならびに、2016年度活動計画および2016年度予算が承認されました。

また、下記の「個人会員の種別と会費に関する規則」および「休眠制度」の広報についても承認されました。改正後の規約等は学会ホームページよりご確認いただけます。

「個人会員の種別と会費に関する規則」

1. 学会規約第7条に基づき、個人会員の会費を次のように定める。

一般会員 10,000円、院生会員 6,000円

2. 会費の変更は、総会の決定をもって行う。

(付則) 本規則は、2016年6月11日より施行する。」

「休眠制度」

長期の海外勤務等の場合には、申し出により、会費納入を免除するかわりに、学会誌の送付、学会報告の機会などのサービスを休止します。帰国の際には、事務局に必ず連絡をしてください。」

さらに、総会において、第7期の理事および監事が下記のとおり選任されました。任期は2016年10月1日から2019年9月30日までの3年間です。

理事：23名

秋月弘子・石原直紀・位田隆一・植木安弘・大芝 亮・大平 剛・小山田英治・功刀達朗・佐藤哲夫・庄司真理子・神余隆博・高橋一生・滝澤三郎・滝澤美佐子・西海真樹・野村彰男・広瀬 訓・二村まどか・本多美樹・望月康恵・山本慎一・弓削昭子・米川正子(五十音順、敬称略)

監事：2名

松隈 潤・渡部茂己(五十音順、敬称略)

3. 新入会員のご紹介

上記理事会において、新入会員として下記の4名、退会6名が承認されました。

〈新入会員〉玉井雅隆・平井華代・向井真代・村上友章(五十音順、敬称略)

2016年6月10日現在、会員数は294名となりました。

4. 2016年度 第1回 運営委員会報告

2016年8月17日に、第6期体制における最終の運営委員会が2016年度第1回運営委員会として開催され、2016年度東アジア国連システム・セミナー(韓国)、第19回(2017年度)研究大会に関する申し送り事項、『国連研究』第18号、編集要領の改訂・審査規定の制定・会員の専門分野区分の方法、英文ホームページの開設予定、次期(第7期)運営体制の構想などについて検討が行われました。

また、この運営委員会において、新入会員として3名(荒木順子・帯谷俊輔・山下朋子)および退会1名が仮承認されました。

5. 渉外委員会からのお知らせ

(1) 日中韓3国の国連研究者が集う第16回東アジア国連システム・セミナーは、本年10月13日(木)から15日(土)まで、韓国で開催されます。今年のテーマは”Changing Northeast Asian Geopolitics and Promoting Partnership at the United Nations”です。日本からは12名の会員が参加する予定です。

(2) 国連システム学術評議会(ACUNS)の第29回年次研究会が2016年6月16日の午後より18日まで米国ニューヨーク州ニューヨーク市マンハッタン市のリンカーンセンターの近くに位置するフォードム大学(Fordham University)で開催されました。今回本学会からは、秋月弘子、石塚勝美、勝間靖、キハラハント愛、黒田順子、庄司真理子、玉井雅隆、二宮正人、長谷川祐弘、東大作、藤重博美、本多美樹、水谷元海、吉村祥子(五十音順、敬称略)の合計14名が参加し、日本の国連学会のプレゼンスが際立ち、ACUNSの幹部より高く評価されました。参加者の方々には感謝いたします。

(渉外委員会主任 長谷川祐弘)

6. 編集委員会からのお知らせ

(1) 17号における誤植について

17号の編集において誤植が多発しましたこととお詫び申し上げます。正誤表はすでに学会ウェブサイトにも掲載しておりますが、今一度、ここに掲載させていただきます。

[正誤表]

- ・4ページ、(誤) 6 平和構築と「適切な居住の権利保障」：
⇒ (正) 平和構築と「適切な居住の権利」保障：
- ・13ページ12行目、(誤) 「平和構築における「適切な居住の権利」保障の役割—国連PKOの可能性」
⇒ (正) 「平和構築と「適切な居住の権利」保障：国連平和維持活動の可能性」
- ・149ページ、(誤) 6 平和構築と「適切な居住の権利保障」：
⇒ (正) 平和構築と「適切な居住の権利」保障：
- ・327ページ、(誤) 石塚智佐 東洋大学教授
⇒ (正) 石塚智佐 東洋大学准教授

矢野麻美子会員ならびに石塚智佐会員には多大なご迷惑をお掛けいたしました。申し訳ありませんでした。

(2) 18号について

『国連研究』第18号（特集テーマ：「多国間主義の展開」）への投稿申込みは8月7日に締め切りました。特集セクションに6本、独立論文セクションに3本、合計9本の申込みがありました。有り難うございました。

(3) 第6期編集委員会の任期終了を迎えて

9月末をもちまして第6期編集委員会の任期を終えることとなります。3年間に第15号『グローバル・コモンズと国連』、第16号『ジェンダーと国連』、第17号『国連：戦後70年の歩み、課題、展望』を刊行することができました。この間、多くの学会員の皆さまにご協力をいただきましたことを編集委員会を代表しましてお礼申し上げます。有り難うございました。

(編集委員会主任 大平 剛)

7. 会費納入のお願い

2016年度までの会費をご納入下さいますようお願い申し上げます。本学会は会費収入を主な財源として運営されておりますため、皆様のご協力が不可欠です。ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。万一、行き違いの際はご容赦下さい。

なお、会費を2年以上お納め頂いていない場合には、理事会で協議した後に、会員としての資格を失うこととなりますのでご注意ください（日本国際連合学会規約第7条）。会費納入状況については、下記の事務局までメールでお問い合わせください。

(編集後記)

3年前に新たに設置された広報委員会では、ホームページの刷新、会員からの情報提供等に努めてまいりました。ご協力いただきました皆様に心から感謝いたします。

(広報委員会主任 秋月弘子)

*** 連絡先にご変更のある方は、事務局までお知らせ下さい。***

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1 常磐大学

国際学部 渡部茂己研究室内 日本国際連合学会

事務局長 渡部 茂己

Fax : 029-232-2755

E-mail : jauns2013☆gmail.com (☆は@に代えてメールしてください)

ホームページ : <http://www.jauns.net/index.html>

日本国際連合学会 (JAUNS) ニュースレター 2016年度第1号 : 2016年9月発行

広報委員会 (秋月弘子)